

## 丘のまち びえい センチュリーライド について

視察日時；令和元年7月2日（火）14：30～16：00

場 所：美瑛町役場

目 的：今年で10回目を迎えるセンチュリーライド運営と現場を視察し、つくば霞ヶ浦りんりんロードの結節点である本市の今後のまちづくり、安全な自転車の運行環境構築について学ぶため。

対応者：美瑛町経済文化振興課

課長 今野聖貴 様

美瑛町経済文化振興課交流振興係長 兼 移住定住推進係長 田中芳久 様

美瑛町議会事務局

局長 新村猛 様

参加議員：内田卓男、矢口清、海老原一郎、小坂博、島岡宏明、塚原圭二、勝田達也、  
矢口勝雄

### 美瑛町の概要

美瑛町は北海道のほぼ中央にあり面積は676.78㎢、人口9,965人、世帯数4,763世帯（平成31年3月31日現在）、販売農家戸数434戸、農業就業人口1,240人、農地面積は一戸あたり25ha。「経済優先で切り捨ててはいけないものが失われている、大切なものを持っている地域がその重要性を発揮すること、それが田舎であることの役割である。」との町長の思いのもと、日本で最も美しい村連合に加盟しており、様々な発信を行っています。

### 丘のまち びえい センチュリーライドの概要

丘のまち びえい センチュリーライドは2019年9月28土曜日29日曜日に開催される大会で10回目となります。2日間で160kmを走行します。コースは丘のまち、らしくアップダウンの連続で美しい風景の中参加者を飽きさせません。大会は主催：NPO 活動法人美瑛エコスポーツ実践会。共催：美瑛町・（一社）美瑛町観光協会。特別協力：（公社）JKA ※競輪とオートレースの振興、実施を担う法人。昨年の大会は9月22日（土曜日）23日（日曜日）に開催され、1,074名参加。内訳は北海道944名、22都府県129名、海外1名。9名のゲストライダーが参加しました。初日は宇都宮ブリッツェンによる「小学生サイクルスクール」や、ちゃりん娘によるトークショー、夜には交歓会があり328名が参加し美瑛町婦人親交会特製の手料理でもてなしました。初日は雨の降る中、2日目は雨上がりの澄んだ空気の中を丘陵、色彩、農作物、空とのコントラストが重なり合う景色、名作TVCMのロケ地を回り、参加者は大会を堪能しました。リピーターが多いのも大会の特徴です。今回の視察で大会による直接的な経済的メリットの程度は確認できませんでしたが、参加者に美瑛の魅力を伝えるとともに、経済優先の社会で大切なものが失われる中、冒頭で述べた地域の大切なものを発揮している大会であると感じました。



主な質問と回答

Q 大会の予算は？

A 1200 万円、美瑛町 500 万円、JKA350 万円、参加費

Q 2 日間の開催だが宿泊施設は？

A 町内 50 だが周辺にも宿泊するので不足はない。

Q 丘のまちですが、コースの高低差は厳しいか？

A 平地はあまりなくアップダウンの連続だが、参加者は平地のみより、そういうコースを好むので問題はない。

Q 初日夜の交歓会の運営は誰が行うのか？

A ボランティアで構成し運営しており、美瑛町婦人親交会が主に行っている。

Q 経済効果とインパウンドは？

A 宿泊は町内の白金温泉が多い。買い物も増える。隣の富良野では台湾の自転車メーカー GIANT と提携しており、今後考えたい。

Q 温泉と結び付けて、売り出しては？また町内に温泉を引いて来れないか？

A 大会の日は紅葉シーズンでもともと温泉はお客さんが多い。源泉温度が 45℃～60℃と いい温度だが、町まで引いてくるのは距離が長くて現実的ではない。

Q 町内は信号が少ないようだが、コースの角々に係員が立っているのか？

A 60 か所以上で立って誘導している。

Q 歩道にフラワースタンドがあるが花の種類と、咲いている期間は？また手入れは？

A ペチュニアで、6 月から 9 月まで咲いている。手入れは委託契約。

Q 町の人口は減少しているが対策は？

A 毎年 100 人自然減。結婚支援、学童支援、育児支援などしている。



作成者・文責 勝田達也

## 感想

内田卓男

最寄りの駅から市役所まで、徒歩にて移動した。

信号が全くと言ってよいほどに、無いのには驚いた。

歩道を歩いて興味を持ったのは、聞いて知ったのだが、ペチュニアという花が、約高さ2m50cm横1m四方の柱上に50mm間隔に、よく管理され、立派に咲いているのでした。(障害者団体に委託)

今までの視察先の中では、最高の出来栄ではないかと思った。

本題に入ると、一級河川の堤防上をコースとしており、高低差があり、本市のコースと比較できないが、単調なコースではないと思う。

私も、2度に分けて、180KMのかすみがうらつくばサイクリングロードを走行したが、景色の変化がないのには辞易した思いがあった。

美瑛町に学んだのは、サイクリング業界が入れ込んでいたことだ。

やはり、全国区的団体とのコラボが必須であろう。

矢口清

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかな波状丘陵と雄大で緑豊かな自然環境が魅力のまちです。小麦、根菜、豆類、馬鈴薯などの畑作農業を基幹産業としながらも、近年は「日本で最も美しい村」連合の取り組みをはじめとした、美しい景観を次の世代に伝える取り組みも行っています。

秋の一大イベント「丘のまちびえいセンチュリーライド」はNPO 美瑛エコスポーツ実践会の主催により開催されます。

道内外から1000人を超えるサイクリング愛好会が集い、美瑛のなだらかで変化に富んだ丘陵地帯を楽しむ、タイムを競わないファンライド形式の大会となっています。今年で10回を迎える、2日間にわたる大会の運営側のノウハウを今後つくば霞ヶ浦りんりんロードで行われる様々なサイクリングイベントに活かせるのではないかと感じました。

海老原一郎

このイベントは、レースではなく、ライダーが交通法規を守って完走を目指すイベントで、つくば霞ヶ浦りんりんロードでも、同じようなイベントの開催は可能と思われる。しかし、りんりんロード沿いだけでは、美瑛のような素晴らしい景色がないのでエイドの充実などが必要と思われるが、土浦市でも周辺地域と連携をとり検討に値するようなイベントだと思いました。

#### 小坂博

美瑛町はセンチュリーライドを町おこしに使用して、地域の交流人口を増加させる効果はあると思います。また、少ない予算で、運営は、市民のボランティアにより運営の大半を賄うということで、土浦市にとっても参考になる事例と思われます。

#### 島岡宏明

旭川空港から車で約 15 分のところに美瑛町がありました。

土浦と同じくサイクリングによる町づくりを目指しています。その主たる行事として「丘のまち びえいセンチュリーライド」があり、千人以上のライダーが集まり、絶景の丘陵地を 2 日間に渡り走り抜く大会です。町の人たちが一丸となってライダーを応援し、ライダーたちも町の人たちと一緒にこの町の素晴らしさを体験するという行事です。今、土浦でもサイクリングコースが整備されつつありますが、美瑛町のような大きな大会が出来て、土浦に集まるライダーたちと土浦市民が一体となる行事が出来ればいいなと思いました。

また、美瑛町には源泉かけ流しの温泉が市街地より 25 キロメートル先にあります。美瑛白金温泉という温泉で十勝岳の自然豊かな恵みを受けている天然温泉です。ライダーの皆さんがサイクリングを楽しみ、温泉につかれるそんな素晴らしい環境が十分に生かせればもっと素晴らしいサイクリングのまちになるのではないかと思います。

そういった意味で土浦市でも霞浦の湯を十分に生かしてサイクリングに来られる皆さんに楽しんでいただければと思います。

#### 塚原圭二

10 回大会記念コースは二日間で 200 km・美瑛センチュリーライドは二日間で 160 km・美瑛丘巡りコースは二日間で 55 km と様々なコース設定があり、また、交流会やゲストによるイベントが盛り沢山実施されており、参加者と美瑛町の人たちが一つになっていることが感じられる大会である。本市も自転車のまち土浦を盛り上げていくためには、市全体が自転車に対して興味を持ち様々な活動に取り組むことが重要と考える。

#### 勝田達也

サイクリング愛好家では有名な美瑛町を訪れました。丘のまちらしくアップダウンの続く丘陵地帯を 160 km 走り抜けるこの大会は、つくば霞ヶ浦りんりんロードにおいてその経験を活かしていけるのではないかと思います。この大会のように 1000 名を超えるサイクリストが走り抜ける姿を想像すると、その姿をりんりんロードで見たいと思います。大会のノウハウや問題点を学びました。告知には自転車メーカーや自転車メディア、自転車

ショップ（ツアーを実施しているところ）との連携が重要です。また市民の皆様方にいかにご理解をいただき、大会の運営に参加していただくのか、そしてサイクリングの普及を市民の自転車の安全な運転環境の構築につなげていくことが大切です。

矢口 勝雄

駅を降りると、駅前にはレンタサイクルの看板やのぼりが目に付きました。ここから町を挙げてのサイクル事業なのだと感じさせられます。

遠くには広大な丘が見渡せます。ここをサイクリングする、そう思うだけで期待が高まります。担当者の説明によると、参加者はこのアップダウンのあるルートを楽しんでいるとのこと。

多くの参加者が町内にある白金温泉に宿泊し、また買い物もしてくれる。観光のまちとして更に知名度アップに貢献しており、イベントとして理想的だと思いました。

## スカイスポーツによる観光への取り組みについて

視察日時；令和元年7月3日（火）9：30～11：30

場 所：たきかわスカイパーク

目 的：スカイスポーツをまちづくり、災害時情報発信に取り入れ、全国からグライダー愛好家の集う滝川市で施設の運営とグライダーの環境を視察し、ツエッペリン飛来という歴史を持つ空のまち土浦市の観光への応用を検討するため。

対応者：滝川市産業振興部観光国際課

主幹 日口裕二 様

滝川市議会事務局

主査 池田茂喜 様

参加議員：内田卓男、矢口清、海老原一郎、小坂博、島岡宏明、塚原圭二、勝田達也、  
矢口勝雄

### 【滝川市概要】

北海道のほぼ中央、札幌市と旭川市の間位置し、石狩川と空知川にはさまれ、市の6割の地域は森林や農地などの緑に囲まれた中空知地方の中核都市である。

明治23年に北海道庁令第一号によって滝川村戸長村役場が置かれたことから始まり、古くから交通の要衝として、また周辺の石炭産業に支えられた商業のまちとして栄えた。

夏は30℃を超え、冬はマイナス20℃を下回る夏と冬の寒暖差が激しい内陸性気候であり、積雪量は約7mと北海道内でも有数の豪雪地帯である。

### 【事業内容】

北海道にはカントリーサインと呼ばれる、町のシンボルと市町村名を一体化した標識が道路のランドマークのひとつとして市町村の境界に設置されています。

その滝川市のまちのシンボルとして描かれているのがグライダーです。

滝川市は上昇気流が発生しやすく、航空管制の制約も非常に少ないことから、スカイスポーツが盛んな街で、市内にある「たきかわスカイパーク」は全国トップクラスの設備を備え、日本中からグライダー愛好者が集まる場所となっている。

グライダーは上空まで軽飛行機で牽引され上昇気流をつかまえて大空高く舞い上がる。

グライダーの体験搭乗が常時できる施設は、日本中でもここだけで、愛好者はもちろんのこと、多くの観光客が体験型観光として楽しんでいる。



【どの様にハード整備を行ったか？】

- ・ 滝川市が描いた航空公園計画がベース
- ・ コンセプトは「金網のない飛行場～空の波打ち際の創造

国「治水の面から河川整備」として

道「地域振興策」として

市「都市公園整備」として

協会「競輪の補助事業」として

【ソフト事業としては】

基本戦略：協会主導による事業運営

- ・ 日本のグライダーの中心であること
- ・ 滝川市にメリットがあること
- ・ 情報発信できること

- ・財政基盤を確立できること

#### 【具体的事業】

##### ①空の体験観光

観光体験フライト

校外学習・修学旅行生をターゲットとする

##### ②小学校の「グライダー授業」

##### ③航空防災活動⇒消防・警察・自衛隊との連携

ドクターヘリの受け入れ、林野火災の偵察指揮、スカイパトロール活動

##### ④イベント事業

##### ⑤マニアに対する操縦教育

##### ⑥大空のノーマライゼーション

##### ⑦施設管理・・・・・・指定管理

#### 【効果】

##### ①経済効果・・・・1億円以上

##### ②ブランド化・・滝川市＝グライダーのまち

##### ③地域特性のある教育・・地域に対する「誇り」の醸成

##### ④魅力ある街の創出・・・・移住定住の流れの促進

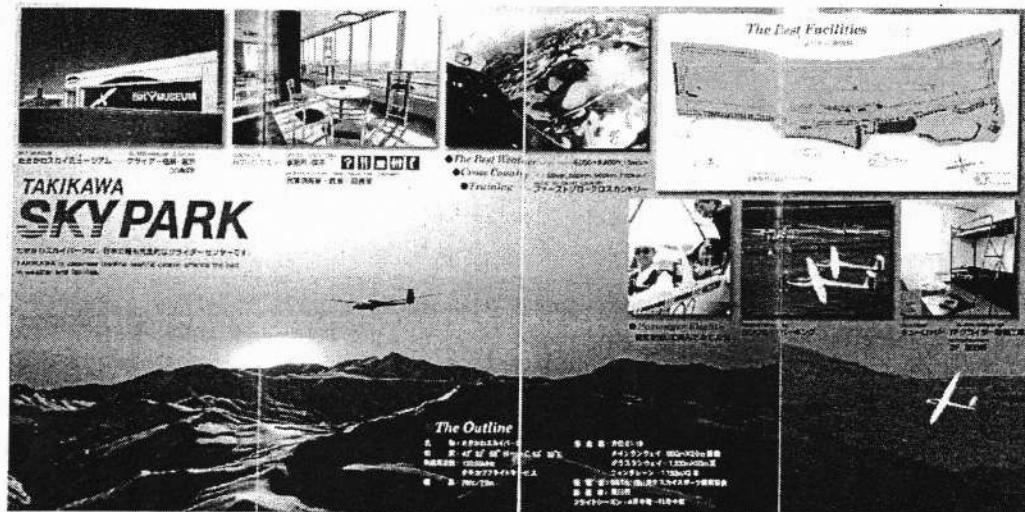
#### 【今後の考え方】

##### ①スカイパークのハード機能を多角的に活用

平時・有事に対応できる航空防災基地化

##### ②行政の思いとマニアの憩いとのマッチング

空をテーマとした総合学習の充実・市民と融合できる公園を目指す。



#### 主な質問と回答

Q グライダーはどのくらいの距離滑空できるのか？

A 津軽海峡は超えないが広範囲に行ける。上昇気流の見つけ方が重要である。

Q 河川敷だが増水により滑空場が浸水しないのか？

A 浸水することもあったが大丈夫。

Q 体験搭乗の人数は？

A 年間 1,000 人、アジアからも来る。

Q 運営費は？

A 体験搭乗、会員の会費で賄っている。

Q レジャー以外の活用は？

A 災害時に上空からの情報収集を行っている。

作成者・文責 塚原圭二

## 感想

内田卓男

滝川駅を降車し、駅広場に出ると、なんと本物のグライダーが鎮座していた。北海道のど真ん中に位置する滝川市は、上昇気流が発生しやすく、航空管制の制約も少ないことから、絶好のスカイスポーツの環境である。

また、国は、治水のための河川整備の、道は地城振興策の、市は都市公園整備として期待されている。競輪補助事業としても期待されている。防災上の貢献度には、興味をひかれた。特に林野火災に。年間 1,000 名を超える体験搭乗者がいることに驚きを感じた。いつの日か大空を体で感じてみたい。

矢口清

滝川市の自慢は、日本有数の作付面積を誇る菜の花畑。上昇気流が発生しやすく、航空管制の制約も少ない滝川市はスカイスポーツが盛んなまちです。市内にある「たきかわスカイパーク」は全国トップクラスの設備を備え、日本中からグライダー愛好家が集まります。グライダーは上空まで飛行機で牽引され、上昇気流を捕まえて大空高く舞い上がります。グライダーの体験搭乗が常時できる施設は、日本中でもここだけ。愛好家はもちろんのこと、多くの観光客の方々に体験型観光として、お楽しみいただいています。その他、災害時の状況確認を行うなど観光以外にも特色を出しています。おおむねの運営費用は会費と体験搭乗費用で賄っており、会としての持続可能性があることは大変参考になりました。

海老原 一郎

日本でも有名なグライダーセンターでした。施設は、会員制となっており（会員以外も利用可）、その会員のグライダーを会員以外に有料で貸し出していることにより、会員費用も安く抑えている点は、特筆すべきです。対応された担当者から、霞ヶ浦でもパラセーリングの可能性について言及されましたが、霞ヶ浦がもう少しきれいになれば可能性が増えると思いました。

小坂博

滝川市は主にグライダーによる町おこしをしていました。グライダーについては、だれでも知っていますが、身近で見ることはほとんどなくて、実物を目の前で見ながら説明を受けたのは、印象的でした。

また、グライダーとインターネットを開けば、滝川市と出てきますので、唯一無二といったところです。それだけに専門性、立地条件が厳しく、どこでもまねのできることはありませんでした。ただ、専門性が必要なだけに人材の重要性は十分に伝わりました。説明をされた方の情熱と知恵に動かされていることが素晴らしく思われました。飛行場等のインフラ等は国、道の予算で整備されたことは事実ですが、このように他ではないような事業を起こし継続させるためには、トップの決断と人材の確保が何より大事だと思われました。

#### 島岡宏明

旭川と札幌を結ぶ中間地点に滝川市があります。その滝川市の石狩川の河川敷に滝川スカイパークがあります。大空を目指して多くの空を愛する人たちが滝川に集まってきます。たきかわスカイパークは日本を代表するグライダーセンターとして国際的に知られています。空から見る北海道の景色はそれは素晴らしい事と想像いたします。たきかわスカイパークのうたい文句は「空の浪打ち際」の創造です。空との接点がこんなに近いまちを今まで見たことはありませんでした。

かつて霞ヶ浦も予科練の飛行場として賑わいました。霞ヶ浦から空に向けてグライダーが発着する姿を想像するととても素晴らしいなと思います。しかし、成田空港の隣接という事もあり、制限があると思いますがぜひ検討してもいい環境にあると思いますので、検討していきたいと思います。

#### 塚原圭二

大自然があつてのスカイパークとはいえ、今回視察対応をして頂いた担当者の方のグライダーに対する熱い思いに、まず感動いたしました。

やはりゼロから一つの事を成し遂げるためには、その事業を引っ張るリーダーの重要性を認識するとともに、本市も見習うべき所が多々あったと思う。

残念であったのは、視察当日はスカイパークが休みであったことです。

#### 勝田達也

上昇気流に恵まれているという地域特性を活かしグライダーという趣味的性の高い乗り物をまちづくりに活かしています。関東はじめ日本全国から、また海外からの来場も

あるとのことでした。運営経費がクラブ会員の会費と体験搭乗などで賄われていることは素晴らしいことです。

かつて大空の巨人と呼ばれた飛行船ツエッペリン伯号が飛来した歴史を踏まえて、土浦市でも飛行船ツエッペリン NT 号が何回か飛来し基地建設に期待が持たれましたが残念ながら実現しなかった経験もあります。また最近では広島の水陸飛行機が首都圏での離発着場を求めて霞ヶ浦に来訪したこともありました。財政面で自立できれば霞ヶ浦を活かし空のまちを目指すことも市の魅力につながると思います。対応して下さった担当者の熱意に感動しました。事業を立ち上げ存続させるにはやはり人が一番重要です。

矢口 勝雄

たきかわスカイパークは、人と空とが自然に触れあえる“空の浪打ち際を創る”ことをコンセプトとしています。それは説明いただいた担当者の熱い思いから十分に実感できました。

また昨年の北海道胆振東部地震の際には、発生直後に被害状況確認のために独自の判断で飛行機を飛ばしたとの話はとても印象的でした。

地域の特徴を活かした事業として、「滝川市＝グライダーのまち」としてブランド化という効果は十分達成できていると思います。土浦市においては、市民の共通理解の上でこのような年間を通したまちのブランド造りへの取り組みが重要であると考えます。

## 札幌市民交流プラザについて

視察日時：令和元年7月4日（木） 9：30～11：30

場 所：札幌市

目 的：札幌市の文化芸術の拠点としてオープンした複合施設であり、その核となる文化芸術劇場、

そして多くの市民が利用する図書館がある。土浦市においては新図書館が動き出し、市民会館の改装オープンを控えている。そのような中、本市の文化事業の参考とするため。

対応者：公益財団法人 札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部管理課

管理担当係長 村田 樹寿様

参加議員：内田卓男、矢口清、海老原一郎、小坂博、塚原圭二、勝田達也、矢口勝雄

本施設は札幌市の文化芸術の拠点として、平成30年（2018年）10月7日にオープンしたばかりの複合施設です。

「札幌創世1.1.1 区北1西1地区市街地再開発事業」の一環として中央区北1条西1丁目に建設された大型複合施設『さっぽろ創世スクエア』の一部として整備されました。『さっぽろ創世スクエア』には、札幌市民交流プラザの他にも、複数のオフィスや放送局等が入居しています。多様な機能が集積・立地し、四季を通じて展開される日々の活動やイベントにより人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、新たなまちが育まれることが期待されています。

2,302席を備え、本格的なオペラやバレエをはじめとした様々な公演が可能な札幌文化芸術劇場『hitaru』、市民やアーティストが発表や交流の場として利用できる札幌文化芸術交流センター『SCARTS』、仕事や暮らしに役立つ図書を集め、カフェを併設する『札幌市図書・情報館』から成っており、札幌のまちに文化芸術を通じた交流の輪を広げることを目的とされています。

## 札幌文化芸術劇場『hitaru』

土浦市民会館の改装オープンを控えており、大きな興味を持って説明を聞きました。

この施設の象徴でもある劇場は、3層バルコニー構造で、オペラ・バレエなどの舞台芸術に対応できる北海道初の多面舞台を備え、幅広い演出を実現できるようになっています。また、音響反射板を使用した各種コンサートに加え、大規模な会議や式典など、さまざまなジャンルの催しの開催が可能です。

この他にも、劇場の主舞台と同程度の広さがあり、移動観覧席を備え、演劇公演、ワークショップ、発表会などの開催が可能な「クリエイティブスタジオ」、ミニコンサートや講演会、可動式の展示パネルを活用した作品展示など、各種イベントに幅広く利用できる「SCARTS（スカーツ）コート」、プロモーションイベントや物品販売などのほか、作品展示にも利用できる「SCARTS（スカーツ）モール」等があります。



当日はコンサートの子定があったため、残念ながら劇場内部を見学する機会はありませんでしたが、最新設備を誇る施設に圧倒されるばかりでした。

2,302席の劇場は、8月にブッチーニのオペラ公演が予定されていますが、チケットは早々に完売とのことでした。

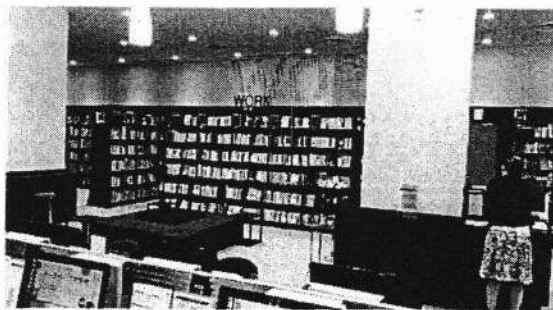
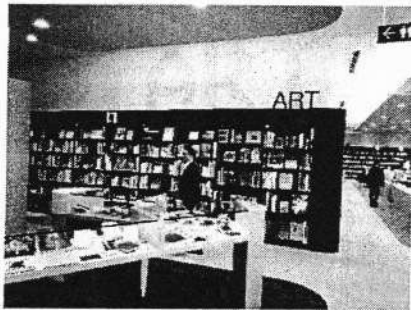
土浦市民会館の改装オープンでも、充実した公演プログラムが重要であると認識しました。

## 札幌市図書・情報館

貸出機能に重点を置いた既存の図書施設とは異なり、調査相談・情報提供に特化した『課題解決型図書館』としての特徴を持っています。

### (1) 仕事や暮らしに関する図書・情報提供

WORK・LIFE・ARTの大きく3つのテーマに分かれており、それぞれに専門性の強い図書が陳列されているのが印象的でした。



### (2) 知的空間の創出

市民の交流を目的として、図書館の常識には無い会話可能としているのが興味深く感じました。

ミーティングルームやグループ席を予約できるようにもなっています。



また作業場として、無料w i - f i などの環境が整ったコワーキングエリアが設けられており、多くの市民が利用されていました。

### 主な質問と回答

Q この敷地の土地の所有者はどなたですか？

A 管理組合を組織し、土地を所有しています。元々は駐車場であったが、ここを再開発しました。国が

らの補助金を得て実施しています。

Q 札幌市には他にこの様な施設はありますか？

A 他に2000人規模のコンサートホールがあります。

Q 賑わいの創出を目的とされていますが、この面での効果は出ていますか？

A 正確な調査は行っておりませんが、オープンして人通りが明らかに多くなっています。

特に駅から続く地下通路において顕著に表れています。

作成者・文責 矢口勝雄

## 感想

内田卓男

札幌市民交流プラザが入居する、さっぽろ創世スクエアの規模は地上 28 階、地下 5 階(表示階: 地上 27 階、地下 4 階)、高さ 124.25m(最高 131m)、延べ面積 13 万 1891 m<sup>2</sup>。設計は日建設計・北海道日建設計 JV、施工は大成建設・岩田地崎建設・伊藤組土建・岩倉建設・丸彦渡辺建設 JV。2018 年 5 月 31 日に竣工し、同 10 月 7 日にグランドオープン。

札幌市民交流プラザは、国内外の優れた舞台芸術やさまざまな公演を鑑賞できる「札幌文化芸術劇場 hitaru」

市民の文化芸術活動をサポートし、札幌の文化芸術を支え、育てていく「札幌文化芸術交流センター SCARTS」

都心に集う人々に仕事や暮らしに役立つ情報を提供する課題解決型図書館

「札幌市図書・情報館」

の 3 つからなる、複合施設。

札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点であるとともに、市民の仕事や暮らしに関する課題の解決を支援し、それらを通して多くの人が交流する場を目標。

「札幌文化芸術劇場 hitaru」は、当日イベント開催中で、場内の視察はでき

なかった。ざんねん。

「札幌市図書・情報館」は、WORK LIFE ART の3部門に分割され、それぞれの専門性を発揮していた。

札幌市の規模からして、当然のありようかとも思えるが、土浦市の図書館のありようも地方都市としては、立派なものかも。

矢口清

市の文化芸術の拠点として、2018年10月7日にオープンした。

札幌・大通公園にほど近く、まちの中心部。市民の文化芸術の拠点としてオープンした複合施設です。

1Fは総合案内、札幌市図書・情報館、カフェが入居している。2Fはレストラン、札幌市図書・情報館、4F~9Fは札幌文化芸術劇場である。総工事費750億円です。なによりその規模には圧倒されます。また同時に文化の高さを実感しました。

海老原一郎

札幌の新しいランドマークタワーでした。その内、オペラにも対応できる札幌文化芸術劇場は、規模が大きく土浦の市民会館とは比較できない素晴らしさでした。本を貸し出ししないで、館内のみで本を読むという図書館は、ユニークでしたが、館内で話をしても良いというのは、土浦市の図書館でも、一部取り入れても良いと思いました。

小坂博

札幌市民交流プラザは、元々は駐車場だったところを土地の高度利用のために、札幌市が一部国の補助を得て建設したコンサート会場と図書館が併設する建物でした。図書館については市民の交流の場にするため、大変珍しいですが、図書館内で話をしても良いという試みをしていました。土浦市にとっても参考になりました。

塚原圭二

なにはともあれ、さすが 200 万都市札幌とを感じる建物であった。

総工費 700 億円（札幌市 350 億円・他 350 億円）の札幌市民交流プラザ内には北海道初の多面舞台劇場や発表会・講演会・演劇公演・リハーサルが行えるクリエイティブスタジオ、様々なイベントが行える文化交流センター、そして図書館・情報館が一つになった建物である。

圧倒されてばかりであったが、本市図書館同様、フロアーをはじめ多くの市民の方々に開放されており、憩いの場としての一面も垣間見る事が出来た。市民の憩いの場として、文化を楽しむ場として大きな役割を果たしていると感じました。土浦市に於ける新図書館、改装中の市民会館を鑑みて、土浦市民にとりそれらの文化施設がより素晴らしい施設となるようヒントをいただきました。

勝田達也

施設の規模に圧倒され、またオペラを楽しめる施設があるという札幌市の文化の高さを感じました。一流のアーティストを呼ぶということはそれに見合う出演料を確保するため相当の観客数が必要であり、そのための施設が必要です。残念ながら土浦市単独でこの規模の施設は建設も維持もできませんが、改装後の市民会館ではより一層内容の充実した運営が望まれます。図書館においては本を貸し出さない図書館、話を（会話を）してもいい図書館、ミーティングルームの貸し出しを行う図書館として、市民ニーズに答えた運営をしており大変興味深く学びました。会話をしているということは土浦市においても応用可能かと感じました。

矢口勝雄

札幌文化芸術劇場『hitaru』の視察は、土浦市民会館の改装オープンを控えており、大きな興味を持って説明を聞きました。当日はコンサートの予定があったため、残念ながら劇場内部を見学する機会は得られませんでした。プロモーションビデオで見せていただいた最新設備を誇る施設に圧倒されるばかりでした。

土浦市民会館の改装オープンでも、充実した公演プログラムが重要であると認識しました。

札幌市図書・情報館では、大都市ならではの多数ある図書館の一つとして、利用形態が特化された施設であることが印象的でした。特に市民の交流を目的として、図書館の常識には無い会話可能としているのが興味深く感じました。

このような施設を作ることにより、施設本来の機能ばかりではなく、人通りが多くなるなどの賑わいを作り出せる事が出来る、このことは駅前にあるアルカス土浦を充実させていく意義を見出す理由になると考えます。